メッセージ　4

神の相続人

聖書：ガラテヤ 3:29．4:7．ローマ 8:17．エペソ 1:18．テトス 3:7

Ⅰ．相続人とは、他の人の死に際して、その財産、資産、称号を法的に相続する権利を持つ人です。

Ⅱ．「相続人」の文字どおりの意味は、「相続を受けるよう任命された者」です。

Ⅲ．信者は相続人となります：

A．わたしたちは再生を通して更新され、神聖な本質を受けているので、わたしたちはまた神の相続人、すなわち永遠の命の望みにしたがって（テトス 3:7）、父なる神の財産を相続する資格のある者とされました（ローマ 4:14、8:17、ガラテヤ 3:29、4:7）。

B．永遠の命は、この時代におけるわたしたちの享受であり、来たるべき時代におけるわたしたちの望みです。それは、わたしたちがこの時代に神を生きて享受するためだけでなく、来たるべき時代と永遠において、神がわたしたちにとって何であるかのすべての豊富を相続するためでもあります。ですから、わたしたちは永遠の命の望みを持っています。

C．この望みにしたがって、わたしたちは神の相続人とされており、永遠にわたって彼のすべての豊富を相続します。

Ⅳ．聖書において、相続人は財産を合法的に受ける者です：

A．神の相続人は、キリストにある信仰を通して神の家族に生まれ、神からの約束あるいは相続を受ける者です。

B．「神の相続人」は、永遠の命、神の王国、霊的な祝福を相続することを表徴しており、しばしばキリストと共同の相続人として述べられています。

C．聖書において、相続人は嗣業を受ける者であり、通常は父の財産、権利、責任を受け継ぐ息子、あるいは指定された親族です。

D．霊的には、相続人は神の家族に生まれた信者を指しています。彼らはキリストと共同の相続人として、救いの約束、永遠の命、神の王国を受けます。

Ⅴ．以下の節は、「神の相続人」に関する聖書のかぎとなる節です：

A．「もし子供であるなら、相続人でもあります．すなわち、わたしたちが彼と共に栄光化されるために、彼と共に苦しむなら、わたしたちは神の相続人であり、またキリストと共同の相続人です」――ローマ 8:17：

1．これは、わたしたちが相続人となるためには条件があることを見せています。

2．わたしたちが相続人であるのは、わたしたちが単に神の子供たちであるからではありません。

3．むしろ、子供たちとして産まれた後、わたしたちは命において成長して子たちとならなければなりません。また栄光化されて合法的な相続人となるために、わたしたちは苦難を経過しなければなりません。

B．「あなたは……子です．またもし子であるなら、神を通して相続人でもあるのです」――ガラテヤ 4:7：

1．新約の信者は、もはや律法の下で働く奴隷ではなく、恵みの下にある命における子です。

2．新約の信者が神の相続人となるのは、律法を通してではなく、彼らの肉体的な父を通してでもなく、神、すなわち三一の神を通してです。御父は、御子とその霊を遣わしました（4、6 節）。御子は、子たる身分のための贖いを成し遂げました（5 節）。その霊は、わたしたちの内側で子たる身分を遂行しています（6 節）。

C．「あなたがたがキリストのものであるなら、アブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです」――3:29：

1．アブラハムの子孫になるために、わたしたちはキリストのものでなければならず、キリストの一部分にならなければなりません。

2．わたしたちはキリストと一であるので、アブラハムの子孫、約束による相続人であって、神の約束された祝福、すなわち、手順を経た神の究極的な完成であるすべてを含む霊を、わたしたちの分け前として受け継ぎます。

3．新約の下で、神の選ばれた人々である信者たち、成人した子たちは、このような相続人であって、彼らは律法の下にいるのではなく、キリストの中にいます。

Ⅵ．今、わたしたちは神の相続人という信者の身分について考えます：

A．キリストは万物の相続者であり（ヘブル 1:2）、信者たちはキリストの共同の相続人に運命づけられています。

B．救われた後、わたしたちは神の子供たち、神の子たち、神聖な性質にあずかる者、神の相続人です。

C．キリストの共同の相続人という成長した段階に達する時、わたしたちは栄光化されます。

D．「それは、その方の恵みによって義とされたわたしたちが、永遠の命の望みにしたがって、相続人となるためです」――テトス 3:7：

1．テトス第 3 章 7 節の「相続人」は、子たちだけでなく、父の財産を受け継ぐ資格のある相続人を指しています――ローマ 4:14．8:17．ガラテヤ 3:29．4:7。

2．そのような相続人は（ヨハネ 1:12-13）神の永遠の命（3:16）から生まれます。

E．信者たちは、キリストの復活の中での再生を通して神の相続人となりました――11:25：

1．キリストが復活させられた時、わたしたち、彼の信者たちはみなキリストの中に含まれていました。こうして、わたしたちはキリストと共に復活させられたのです――エペソ 2:6。

2．キリストの復活の中で、彼は神聖な命をわたしたちの中へと分与し、わたしたちを命と性質において彼と同じにしました。

3．これが、神の相続人となるための、わたしたちの再生の基本的な要因です。

F．神の相続人としての信者たちの身分において、彼らは光の中ですべての聖徒と共に、彼らの分け前として、キリストの中に具体化された三一の神にあずかります――コロサイ 1:12。

G．使徒第 26 章 18 節は、キリストにある信仰による、罪の赦しと、聖別された人たちの間での嗣業について語っています。

Ｈ．この神聖な嗣業は、三一の神であり、彼が持っているすべて、彼が行なったすべて、彼が彼の贖われた民のために行なおうとしていることのすべてを伴っています。

Ｉ．神の相続人として、信者たちはまたキリストと共に栄光化されます――ローマ 8:17 後半：

１．キリストは今や栄光の中にいます。

２．最終的に、わたしたちは栄光の中へともたらされて、キリストと共に栄光化されます。

３．わたしたちが栄光化される時、わたしたちの卑しい体は栄光の体に変貌させられます――ピリピ 3:21。

４．種としてわたしたちの内側にある命は、栄光の命です。これは、わたしたちの内にいますキリストであり、栄光の望みです――コロサイ 1:27。

５．わたしたちが栄光の要素をもって飽和され浸透される時、その栄光はわたしたちから出て来ます。これが、神の相続人としてのわたしたちが、キリストと共に栄光化されるという意味です。

Ｊ．信者たちが神聖な嗣業を享受することは、神の嗣業となることにおいて完成します――エペソ 1:18：

１．神の相続人として、信者たちがキリストの共同の相続人であるのは、約束と永遠の命の望みにしたがって、キリストの恵みによる義認とキリストの復活の中での再生を通してです。

２．エペソ第 1 章 18 節は、神の嗣業が聖徒たちの中にあることを示しています。

３．神の嗣業である者として、わたしたちは聖霊で証印を押されました――13 節。

Ｋ．わたしたちを神の相続人としての信者たちに関する真理の中へと深く導き入れてくださったことで、わたしたちは主に感謝します。

©2026 Living Stream Ministry